

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/04/07号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



通商リスクの高まりで急落地合に

NY原油先物相場は、1バレル=62ドル水準まで急落し、2021年4月以来の安値を更新した。4月2日にトランプ米大統領が相互関税を発表すると、通商リスクを織り込む形で急落した。主要貿易相手国に対して想定よりも厳しい対応が行われたとの評価から、世界経済の減速リスクを織り込む動きが優勢になった。株価や非鉄金属相場が急落し、それと歩調を合わせる形で原油相場も値下がりしている。また、カナダとメキシコに対する相互関税は見送られたことで、両国から米国向け原油供給に混乱が生じるリスクが回避されたこともネガティブ。

しかも、石油輸出国機構（OPEC）プラスはこのタイミングで、5月の減産縮小（=増産）を計画していた日量13.5万バレルから41.1万バレルまで引き上げることを発表した。これによって需給緩和リスクが一気に高まったとの評価から値を崩している。供給不安で70ドル台前半まで値上がりしていたが、そこから10ドル幅の値下がりになっている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月28日時点）は、原油が前週比617万バレル増、ガソリンが155万バレル減、石油精製品が26万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

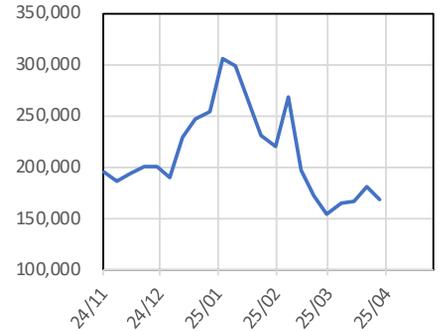
通商リスクでコアレンジ切り下げ、株価動向もみながら

トランプ米政権の相互関税に対する警戒感から、上値の重い展開が続きやすい。相互関税に対する各国の対応は割れているが、中国、欧州連合（EU）などが既に報復を宣言している。特に中国は既存の20%に加えて相互関税でさらに34%も課税されることを受けて、米国からの全輸入品に対して34%の関税を課すと発表している。主要石油消費国である米国と中国が本格的な貿易戦争に突入することに加えて、米国は世界各国と貿易紛争を抱えることになるため、インフレや景気減速に対する警戒感も強くなっている。先行き不透明感が極端に高まっており、このまま世界経済の減速懸念を織り込む動きが続くと、55~60ドル水準まで更に値位置を切り下げる可能性が高い。株価や銅相場などの値下がりが続くようであれば、原油相場も上値の重い展開が支持されよう。さらに通商リスクを高めていくような動きの有無が焦点になる。

一方、昨年に65ドル水準で下げ渋ったのは、これ以上の安値だと米シェールオイルなどの生産活動に対してネガティブな影響が生じるためだ。直ちに減産が始まる訳ではないが、供給サイドの安値対応が限界を迎えたと評価されると、下げ一服となる可能性はある。ただし、その際も65ドル水準まで切り返すことが可能かとの目線に留まり、相互関税発表前と比較してコアレンジが切り下がることは避けられないだろう。

また、足元のリスクはあくまでもトランプ大統領が作り出したものである。株価急落や米国内での不満の高まりで厳しい通商政策が早期に修正を迫られるような動きがみられると、安値修正が促される可能性がある。逆に米原油在庫が今年最高を更新しているため、さらに在庫積み増しが報告されると、値下がりが加速しやすくなる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



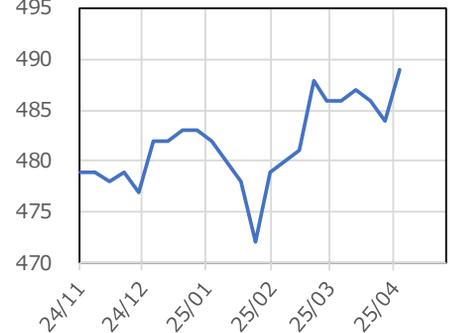
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

